

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 1 日

事務事業名		農業基盤整備事業						事業区分		担当	
政策体系		政策体系上の位置付け						新規/継続		事務事業No. 050103000849	
総合計画の施策名		0501 農業の振興						単独/補助		050101	
政策名		05 魅力と活力のある産業社会づくり						継続		050101	
施策名		01 農業の振興						補助		所属課 農林課	
基本事業名		03 農業の効率化推進						主要事業		対象外	
								市長マニフェスト		対象外	
								未来PJ事業		対象外	
								合併建設計画事業		対象外	
								グループ		農林G	
財務会計上の位置付け		事業期間									
予算科目		一般会計						単年度繰返し (昭和33年度~)			
会計		農地関係事業						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
01											
06											
01											
05											
02											
00											
法令根拠		土地改良法									

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<ul style="list-style-type: none"> ・地区又は土地改良区等からの整備要望により、現地調査・事業費算出・受益者負担(事業費の30%以内)等の協議調整を経て、受益者のニーズに合った整備内容を考案して事業化する。 ・なお、本事業と土地改良事業負担金徴収事業・県土地改良事業団体連合会参画事業・土地改良事業調査設計参画事業は関連している。 ・*災害対応等もあり、補正予算で対応する工事も多い。 	<p>【事業年度前年度まで】</p> <p>整備要望受理→現地調査→事業計画等の協議→受益者負担等の協議・調整→事業化</p> <p>【事業年度】</p> <p>土地改良法の事業手続き→補助事業申請業務→調査設計委託契約→実施設計打合せ(委託先及び受益者との協議)→工事起工契約→工事管理→工事完了検査→補助事業実績報告→受益者負担請求</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
【県単】県補助(50%以内)+市一般会計 +受益者負担 【市単】市一般会計+受益者負担	整備要望件数	件	60.00	80.00	70.00	70.00	70.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
農業基盤施設の整備	整備件数	件	47.00	78.00	70.00	70.00	70.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
施設の適正な機能改善を行い、農業生産性及び快適な農村環境を維持する。	整備率=整備件数/要望件数	件	78.00	98.00	100.00	100.00	100.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入	事業費	財源内訳	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	29年度(目標)	30年度(目標)	期間限定総投入量
県支出金	千円	38,774	26,072	9,310	5,400	5,400	5,400	
地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0	
その他	千円	5,683	3,010	2,244	600	600	600	
一般財源	千円	93,468	71,009	37,399	6,585	6,585	6,585	
事業費計(A)	千円	137,925	100,091	55,203	12,585	12,585	12,585	
正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人		
述べ業務時間	時間	2,110.00	2,110.00	2,110.00	2,110.00	2,110.00		
人件費計(B)	千円	6,121	6,121	6,121	6,121	6,121		
トータルコスト(A)+(B)	千円	144,046	106,212	61,324	18,706	18,706		
事業費の内訳	27年度事業費 実績(千円)				28年度事業費 予算(千円)			
	15 工事請負費	100,091		13 委託料	7,453			
				14 使用料及び賃借料	450			
				15 工事請負費	46,500			
				16 原材料費	800			
			合計	100,091		合計	55,203	

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	農業基盤整備事業	事務事業No.	50103000849	所属課	農林課
-------	----------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 昭和53年頃、農業基盤整備と農村環境改善を目的に始まった事業である。現在は、未整備による整備必要箇所が多い。また、整備後長期期間が経過したことよる再整備の必要性が生じた箇所等、今後も整備改善が求められている。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 農業生産基盤整備、農作業の生産性向上や農村の生活環境が整ったと喜びの声がある。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	本事業により、施設としての機能が保たれ、自主的かつ適正な維持管理や農山村の振興に結び付く。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	農業用施設(道路・水路・ため池等)は農地に欠かせない施設であり、市の財産でもある。また、水路等の公共施設は、地域周辺の生活環境又は防災施設等の役割も担っているため、公共の関与が必要である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	農業用施設は、受益者(利用者)が恒常的に維持管理を行うことになっているが、適正な管理をしているとは言えない箇所が多く、指導していくことで成果の向上に繋がる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	農業用施設の管理が不適切な状態になり、施設が破損して農地や農村への被害が出ることになる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	桜川市土地改良区との適切な事務分担により、現在よりも効率的に事業を行える可能性はある。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	受益者の要望と事業費が比例するため、事業費を無理に下げることでも成果も下がってしまう。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	農業用施設等の維持管理は、農業者だけに負担が集中しやすい傾向にある。本事業では、事業費の30%以内が受益者負担となるため、自主管理負担と考えれば妥当である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	全体として適切であるが、有効性に見直しの余地がある。また、桜川市土地改良区との適切な事務分担により効率性等改善の余地はあると考える。																						
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 受益者の維持管理活動の推進	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						
	(6) 事務事業優先度評価結果																						
成果優先度評価結果 ⑥																							
コスト削減優先度評価結果 ⑤																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認